

問1 土地が流れる水によってけずられ、流され、海や湖の底に広がって積もり、それが積み重なって厚くなることでできるものは何ですか。

問2 大地が動いたときに起こる、大地のゆれのことを何といいますか。

問3 火山がふん火することによって、よう岩で川がせき止められて湖ができたり、火山灰で田畑がうまったりして、大地のようすが変わることを何といいますか。

問4 砂やどろが混ざった土を水に流しこんだとき、つぶの大きさしずむと沈む速さにはどのような関係がありますか。

問5 流れる水のはたらきによって運ばれたれき、砂、どろが、つぶの大きさによって分かれて水底に積もる現象を何といいますか。

問6 地層をつくっている主なものは、れきや砂のほか何がありますか。

問7 火山が噴火したときにふき出し、地面に降り積もって地層をつくるものはどれですか。

問8 火山の噴火によってふき出されたものが風に運ばれて積もってできた、角ばった石や小さなあながあいた石、結晶けっしょうなどが含まれる地層を何といいますか。

問9 地震じしんが起きたときに、大地に生じるずれのことを何といいますか。

問10 流れる水のはたらきによって地層ができるとき、けずられたり流されたりしたものは、どこに広がって積もりますか。

問11 れき岩は、砂のほか何に固まってできた岩石ですか。

問12 地層をつくっているれきや砂の角がとれて丸みを帯びていることから、地層をつくる原因となったと考えられる自然のはたらきは何ですか。

問13 流れる水によって運ばれたれき、砂、どろが水底に積もるとき、つぶの大きさと沈むしず順番にはどのようなきまりがありますか。

問14 大昔の生きもののからだや、生活のあとが地層の中に残ったものを何といいますか。

問15 火山が活動して、よう岩が流れ出たり、火山灰が広い範囲はんいに降り積もったりする現象を何といいますか。

問16 れき、砂、どろなどが積み重なってできた、しま模様のようなものを何といいますか。

答え合わせ・解説 No.1

| | | |
|-----|-------------------------------|--|
| 問1 | 答え 地層 | 土地が流れる水によってけずられ、流されて、海や湖の底に積もり、積み重なって厚くなることで地層ができます。 |
| 問2 | 答え じしん 地震 | 大地が動いたときに起こるゆれのことを地震 <small>じしん</small> といいます。 |
| 問3 | 答え 火山活動による大地の変化 | 火山がふん火して、流れ出たよう岩やふきだした火山灰によって大地のようすが変わることを「火山活動による大地の変化」といいます。 |
| 問4 | 答え つぶの大きいものの方が早く沈む。 しずむ | つぶの大きさのちがう土を水に流すと、つぶの大きいものの方が早く沈 <small>しずむ</small> みます。 |
| 問5 | 答え 流れる水によるたい積 | 流れる水によって運ばれた土砂が水底に積もることを「たい積」といいます。つぶの大きさによって分かれて積もるのが特徴 <small>とくちょう</small> です。 |
| 問6 | 答え どろ | 地層は、れき、砂、どろなどが積み重なってできています。 |
| 問7 | 答え 火山灰 | 火山が噴火 <small>ふんか</small> したときにふき出した火山灰が、地上に降り積もることで地層がつくられます。 |
| 問8 | 答え 火山灰の層 | 火山の噴火 <small>ふんか</small> によってふき出された火山灰などが風に運ばれて積もってできた地層を、火山灰の層といいます。 |
| 問9 | 答え 断層 | 地震 <small>じしん</small> が起きたときに、大地に生じるずれのことを断層といいます。 |
| 問10 | 答え 海や湖の底 | 流れる水によってけずられ、流されたものは、海や湖の底に広がって積もり、積み重なって地層になります。 |
| 問11 | 答え れき | れき岩は、れきが砂といっしょに固まってできた岩石です。 |
| 問12 | 答え 流れる水のはたらき | 地層の中のれきや砂の角がとれて丸くなっているのは、流れる水のはたらきによって運ばれ、地層がつくられたことを示しています。 |
| 問13 | 答え つぶが大きいものほど先に沈む。 しずむ | 流れる水で運ばれたものは、重くてつぶが大きいもの（れきなど）ほど先に沈 <small>しずむ</small> み、小さくて軽いつぶ（どろなど）はあとに沈 <small>しずむ</small> みます。 |
| 問14 | 答え 化石 | 大昔の生きもののからだや生活のあとが残ったものを化石といいます。 |
| 問15 | 答え 火山のふん火 | 火山が活動して、よう岩が流れ出たり、火山灰が広い範囲 <small>はんい</small> に降り積もったりする現象を「火山のふん火」といいます。 |
| 問16 | 答え 地層 | れきや砂、どろなどが積み重なってできたものを地層といいます。 |